

人口減少への挑戦！「しごと」を元気にする都市宣言

～あらゆる市民が輝き、Z世代が活躍するために～

浜松市の人口は2010年を境に減少し、2024年1月1日現在約79万人となり、急激な少子化に伴う人口減少に加え、近年の社会動態からは15歳以上29歳以下の若年層の首都圏への転出超過が顕著になっている。

本市のやらまいか人口ビジョン（令和2年改訂版）における将来推計人口によれば、現行のまま推移すると、2060年には人口60万人を下回ると見込まれ、まさに危機的な状況と言える。

また、地域産業においては、市内人口及び生産人口の減少に伴う労働力不足は既に顕在化しており、DX推進やカーボンニュートラルなど新しい環境変化への対応も急務となっている。

人口減少の流れを食い止め、持続可能な都市を創るためには、まちを元気に・ひとを元気に・しごとを元気に、「浜松から地方創生」を目指し、地域企業の理解と協力のもと、浜松市と浜松商工会議所の他、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、商工会、金融機関、教育機関等の支援機関が連携するなど、官民一体となり全方位から総力を挙げて取り組むことが必要である。

この度、官民を代表し、浜松市と浜松商工会議所により、豊かな生活の基盤となる「しごと」を元気にする取り組みを強力に推進することで、「あらゆる市民が輝き、Z世代が活躍できる都市を目指す」ことをここに宣言する。

- 1 地域産業における人材確保
- 2 魅力的な働く場の創出
- 3 安心して働ける環境の実現
- 4 地域の稼ぐ力の強化につながる生産性・付加価値の向上

2024年4月5日

浜松市長

浜松商工会議所 会頭